

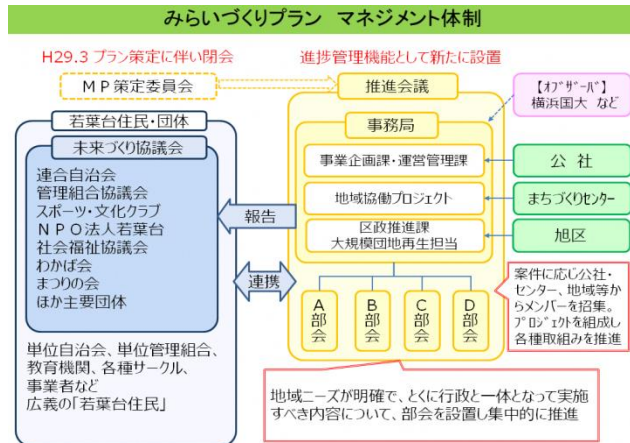
横浜若葉台 みらいづくりプラン推進会議ニュース

2月15日にみらいづくりプラン推進会議第2回本会議を開催しました。主な議題は、

- ・重点的な課題に対して設置した各作業部会の進捗報告
- ・各団体における「これまでの取組みの振り返り」と「平成30年度における重点的取組みの共有」の2点です。

前号の広報ニュースでもお知らせしたとおり、各部会の役割は、A部会（地域団体におけるアクションプランの策定）、B部会（旧西中学校の本格的な利活用）、C部会（土地利用の課題）、D部会（みらいづくりプランに係る広報全般）と位置づけられており、本会議ではそれぞれの進捗状況が報告されました。A部会とB部会では、地域団体等へのヒアリングをはじめ、既に様々なアクションが始まっています。また、C部会とD部会は、次年度予算や業務執行体制の確定を待ちながら事務局レベルで本格稼働に向けた準備を進めているところです。

今号の広報ニュースでは、各部会のうち既に具体的に動き始めたA部会にスポットをあて、各地域団体のご協力を得て行ったヒアリングの概要と、本会議に先立って2月4日に開催されたワークショップの様子をご紹介します。



【ヒアリング実施概要】

実施日：平成29年12月8日から12月12日

実施団体：連合自治会、管理組合協議会、地区社協、NPO法人若葉台、子育てささえあい連絡会、地域ケアプラザ（上記以外の団体も順次実施予定）

内容：「横浜若葉台みらいづくりプラン」の実現に向けて、各団体ができること（やりたいこと）と地域における活動、団地の現状と課題について、それぞれの取組み方針や問題点等を確認

【ヒアリングで確認できたこと各団体の取組むべき事項】

- ・センター地区の活性化の推進
- ・一人暮らし高齢者の生活をハード面からの支援
- ・旧西中学校の本格活用
- ・地域福祉保健計画の推進
- ・地域包括ケアシステムの構築と必要な人手の安定的な確保と供給
- ・子育てサポートグループの取組み推進
- ・適切な世代交代
- ・広報の充実と若葉台の魅力発信、若年世代の移住・定住の促進、支援 等々

いずれの取組みも複数団体の連携が必要不可欠であることを再認識

【ワークショップ実施概要】

12月に行った各団体へのヒアリングにおいて得られた意見や情報を参考にして、2月4日ケアプラザにてA部会を開催しました。

みらいづくりプラン基本方針のうち、テーマA「地域包括子育て」とテーマB「安全・安心・健康まちづくり」の2つにテーマを絞り、全部で4グループに分かれてグループワークを行ないました。



旭区区政推進課より概要説明(22名参加)

冒頭、旭区区政推進課よりA部会の活動経緯や区の役割、アクションプランのイメージについて説明を行った後、テーマに応じ「若葉台における今後の取組み」についてワークを開始。以下の2点を意識しながら熱心な議論が交わされました。

論点1：各事業（取組み）の主体者と他の組織が連携できること

論点2：みらいづくりプランから抽出すべき事業（取組み）の妥当性

先のヒアリングでも明らかになってきたとおり、今後のまちづくりにおいては、これまで以上に主体者どうしの連携が必要不可欠となります。このことを再認識し、一つでも多く具体的なアクションに繋げていくことが、みらいづくりプランを推進していくための第一歩に他なりません。

テーマに基づき、各グループで討議・発表された主な内容は以下のとおりです。短い時間ではありましたが、いずれのグループも課題の本質を的確にとらえた提案でした。推進会議本会議へのフィードバックを行い、平成30年度のアクションプランづくりに活かしていきます。

テーマ	グループ	グループで討議したアイデア	概要
A	①	子育て・親育ち環境に関する情報発信	各団体が情報発信の工夫や課題を共有。まちづくりセンター等が支援
	②	「若葉台子ども憲章」をつくる	わかりやすい言葉で「子ども憲章」を作成。子どもにやさしいまちとして内外に発信
B	③	身近なコミュニティによる共助を地域で支える仕組みづくり	棟ごと単位自治会ごとの今ある取組みなどを支えるため、地域ケアプラザやNPO法人若葉台、地区社協が連携
	④	高齢者の健康づくりから生活支援への連動した取組み	VOSCやシニアライフ財団等が連携し健康づくりメニューを充実。地域ケアプラザやNPO法人若葉台等が連携し体制を検討

次回会議では「平成30年度の重点的取組み（アクションプラン）」を策定

今回の本会議では各団体から「平成29年度の振り返り」と「平成30年度の重点課題」について発表・共有し、アクションプランづくりの基礎情報を整理する予定でしたが、時間の都合もあり未了となりました。今後、事務局がすべての団体にヒアリングを行い補完していきます。

推進会議では、様々な団体が主体的に活動している若葉台の特徴を活かし、主要団体のアクションプランを一覧できる「まち全体のアクションプラン」の策定を試みます。

地域の活動が、どのようにみらいづくりプランの推進に連動しているかを可視化することにより「まちづくりの当事者」が増えていくことを期待しています。

次回の全体会議は、5月中旬に開催予定です。

次号のニュースでは、第3回全体会議の概要と平成30年度のアクションプランについてお知らせする予定です。

◇ご意見等ございましたら、若葉台まちづくりセンターホームページのお問い合わせページもしくはみらいづくりプラン推進会議事務局公社担当(団地再生事業部事業企画課045-651-1957)まで。

若葉台まちづくりセンター：<http://www.wakabadai-kc.or.jp/> 神奈川県住宅供給公社：<http://www.kanagawa-jk.or.jp/>